

深谷市・岡部町・川本町・花園町

合併協定調印式

平成17年2月17日 午後0時30分
埼玉グランドホテル深谷 ダイヤモンドホール

(式典経過)

発 言 者	発 言 内 容
倉上深谷市助役 (司会)	<p>皆様、本日は大変お忙しい中ご臨席をいただきまして、まことにありがとうございます。</p>
	<p>本日の司会進行を務めさせていただきます深谷市助役の倉上と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
	<p>本日の調印式は、皆様にお配りしてございます調印式次第によりまして進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
柿澤岡部町収入役	<p>初めに、開式の言葉を柿澤源八岡部町収入役より申し上げます。</p> <p>改めまして、皆さんこんにちは。ただいま紹介を受けました私、岡部町収入役の柿澤でございます。</p>
	<p>本日はここに、めでたく調印式を迎える運びとなり、公私ともに極めてご多忙のところ、埼玉県知事様を始め県議会議員の先生方、また各市町の議員さんなど関係者多数のご臨席を賜り、ここに厳粛に式が挙行できますことに対しまして、心から御礼を申し上げます。</p>
	<p>ただいまより深谷市・岡部町・川本町・花園町の合併協定調印式を開式させていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
倉上深谷市助役 (司会)	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、深谷市・岡部町・川本町・花園町のこれまでの合併協議の経過につきまして、馬場一雄川本町助役よりご報告を申し上げます。</p>
馬場川本町助役	<p>皆さん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました川本町の助役の馬場でございます。私の方から本日の合併協定調印式に至りますこれまでの深谷市、岡部町、川本町、花園町1市3町における合併の協議経過につきまして、ご報告申し上げます。</p>
	<p>市町村の合併の必要性につきましては、地方分権の推進や少子高齢社会の進展、国、地方の厳しい財政状況など社会状況を背景に全国的に市町村合併の議論が高まる中、本地域におきましても市町村合併の機運が高まってまいりました。本地域におきましては、平成14年6月に大里地域の2市7町で構成いたしました「大里地域まちづくり合併研究会」を設置し、約半年にわたり合併について研究、検討がなされましたが、翌年の平成15年1月には解散となりました。</p>
	<p>その後、同年4月に深谷市、岡部町、川本町、花園町、寄居町で構成いたしました1市4町法定合併協議会を設置し、延べ11回の協議会を開催し、合併協議を重ねてまいりましたが、皆様ご承知のとおり寄居町の離脱によりまして、平成16年5月に解散となったところでございます。</p>
	<p>1市4町合併協議会が解散となった後に、深谷市、岡部町、川本町の1市2町で</p>

(式典経過)

発 言 者	発 言 内 容
倉上深谷市助役 (司会)	<p>は、市町村合併は自主・自立のまちづくりにおいて、どうしても必要であるという認識から、平成16年8月に法定合併協議会を設置し、合併協議を進めてまいりましたが、花園町において「合併に関する意思を問う住民投票」が行われ、その結果を受け、深谷市、岡部町、川本町に対しまして合併協議の申し入れがなされ、平成16年12月1日に深谷市・岡部町・川本町・花園町の1市3町によります法定合併協議会を設置し、新たな合併協議を開始し、本日、合併協定調印式の挙行と重なったところでございます。</p> <p>恐れ入りますが、本日お手元に配付いたしました合併協定調印式の資料がございりますが、その中の1ページから2ページをご覧いただきたいと存じます。こちらの方に本日までの1市3町の合併協議会におきます協議経過を記載してございます。後ほどご覧いただければと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>先ほど申し上げましたとおり、昨年12月に合併協議会を設置以来、本日まで、合併協議会委員の皆様や埼玉県を始めとする関係皆様方のご尽力、ご支援を賜りながら協議会会議を開催してまいりました。これまで4回の協議会会議において、協議会委員の皆様には慎重かつ建設的なご意見、ご協力をいただき、新市建設計画等々の50項目の合併協定項目につきまして、すべての協議が整ったものでございます。</p> <p>恐れ入りますが、もう一つの資料がございりますが、合併協定書をご覧いただきたいと存じます。合併協定書の項目の協議の結果でございますが、この中に1ページから15ページにつきまして、50項目の協定内容が記載してございます。詳細につきましては、後ほどご覧いただければと存じます。</p> <p>また、本日11時30分より開催されました第4回協議会において、新市建設計画が決定いたしましたことから、皆様のお手元に配付させていただきましたので、あわせて後ほどご覧いただきたいと存じます。</p> <p>以上をもちまして、協議経過の報告とさせていただきます。どうもありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここで合併協定書署名席を準備いたしますので、少しお時間をいただきたいと存じます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>(署名席準備)</p>
倉上深谷市助役 (司会)	<p>お待たせいたしました。それでは、これより合併協定書の署名に移らせていただきます。</p> <p>まず、新井深谷市長、神尾岡部町長、小川川本町長、柳花園町長に協定書に署名をお願いいたします。</p>

(式典経過)

発 言 者	発 言 内 容
倉上深谷市助役 (司会)	<p>では、署名席をお願いいたします。 合併協定書は4部ございます。それぞれ署名をお願いいたします。 (署 名) 首長によりまずご署名をいただきました。 主催者席へお戻りください。 (新井深谷市長、神尾岡部町長、小川川本町長、柳花園町長着席)</p>
倉上深谷市助役 (司会)	<p>続きまして、特別立会人としてご臨席を賜っております埼玉県知事上田清司様にご署名をお願いいたします。ご署名席をお願いいたします。 合併協定書は4部ございます。それぞれご署名をお願いいたします。 (特別立会人署名)</p>
倉上深谷市助役 (司会)	<p>知事によりまずご署名をいただきました。ありがとうございます。 お席にお戻りください。 (上田埼玉県知事着席)</p>
倉上深谷市助役 (司会)	<p>続きまして、立会人として各市町議会議長にご署名をお願いいたします。 ご署名席へお願いいたします。 合併協定書4部ございますので、それぞれご署名をお願いいたします。 (立会人署名)</p>
倉上深谷市助役 (司会)	<p>立会人によりまず署名をいただきました。ありがとうございます。 お席にお戻りください。 (小島深谷市議会議長、平野岡部町議会議長、黒沢川本町議会議長、松本花園町議会議長着席)</p>
倉上深谷市助役 (司会)	<p>ここで記念撮影のため準備をいたしますので、少しお時間をいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。 (記念撮影準備)</p>
倉上深谷市助役 (司会)	<p>お待たせいたしました。本日ここに、埼玉県知事上田清司様、各市町議会議長様を始め当会場にお越しくださいました多くの皆様に立ち会いをいただきまして、合併協定書の署名が滞りなく執り行われました。 ここで会場にお越しの皆様にご披露いただきたいと存じます。 上田知事、新井市長、神尾町長、小川町長、柳町長にはステージ中央にお進みください。 では、市長並びに町長には、合併協定書を胸の前にお持ちいただき、上田知事を中央に囲み、皆様にご披露いただきたいと存じます。 カメラをお持ちの方は前の方にお進みいただき、撮影をお願いいたします。</p>

(式典経過)

発 言 者	発 言 内 容
<p>倉上深谷市助役 (司会)</p>	<p>(合併協定書披露) ありがとうございました。 続きまして、上田知事を中央に囲み、かたい握手をお願いしたいと存じます。協 定書は職員にお渡しください。 皆様、大きな拍手をお願いいたします。</p>
<p>倉上深谷市助役 (司会)</p>	<p>(拍 手) ありがとうございました。 お席にお戻りください。</p>
<p>倉上深谷市助役 (司会)</p>	<p>(上田埼玉県知事、新井深谷市長、神尾岡部町長、小川川本町長、柳花園町長着席) ここで演台の準備をいたしますので、少しお待ちいただきたいと存じます。</p>
<p>倉上深谷市助役 (司会)</p>	<p>(演台準備) お待たせいたしました。ここで、各市町を代表いたしまして、市長並びに町長よ りごあいさつを申し上げます。</p>
<p>新井深谷市長</p>	<p>初めに、新井家光深谷市長よりごあいさつを申し上げます。 深谷市長の新井でございます。大変僭越ではございますが、協議会会長というこ とでございますので、まずは私からごあいさつをさせていただきたいと思ひます。 本日は大変お忙しい中、このように多数の皆様においでいただきましたことを心 よりお礼申し上げます。また、埼玉県知事上田清司様におかれましては、この後都 内で全国知事会という大きな仕事がある前に、昼食もとらずに駆けつけていただき ましたこと、心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。 また、地元選出の小泉代議士、そして県議会議員の石渡議員、笠原議員、そして 新井議員には、公私ともにこの合併に向けてのサポートにご尽力をいただきました ことを心よりお礼申し上げます。 本日ここに、深谷市・岡部町・川本町・花園町の合併協定書の調印を滞りなく終 ることができました。これも皆様の温かいご支援のおかげと、心よりお礼申し上げ ます。 1市3町の合併協議に当たりまして、私ども首長といたしましては、この時代の 流れ、特に地方分権以降少子高齢化、さらには国の財政問題、そういうものを考え て、是が非でも20年、30年、さらに将来にわたってやはり効率的な行政運営が できること、そして住民の皆様にも痛みを伴う前に、我々が痛みを伴いながら改革を し、そして安定的な県北の雄都となって発展することをどうにかしようではないか という信念のもとにこの協議会を続けてきました。それぞれ各市町には風土もある</p>

(式典経過)

発 言 者	発 言 内 容
倉上深谷市助役 (司会) 神尾岡部町長	<p>し、歴史もあります。そして、それぞれ住んでいる方々が自分たちの郷土を思う気持ちは人一倍強いところでもあります。そういう方々に説明し、そして合併の必要性を説いて回った、神尾町長、小川町長、柳町長には、本当に敬意を表する次第でございます。</p> <p>私どもが考えていることは、将来にわたってやはり少子化問題、財政問題を含めまして、負担をいかに軽くし、そして持続的な発展を遂げるか、この1点でございます。自分たちの身を守るということは一つも考えたことはございません。その思いがこのようにここまでこぎつけたのかなというふうに感無量の気持ちでございます。</p> <p>私は、今後ともこの1市3町を新たな新しいまちの出発点といたしまして、これからまさに私は厳しい時代、厳しい合併後を乗り切っていかなければならないのではないかと、そのためには住民の方々が仲よく、そして皆様が先導的になってこの新市をまとめていく必要があるのではないかなと、私は考えております。</p> <p>また本日は、立会人ということで深谷小島議長、そして岡部の平野議長、川本の黒沢議長、そして花園の松本議長がまさに親鳥が卵をかえすような思いでここまで調整していただきました。愛情を持って持続的に根気よく、そして大事に大事にこの調印、さらには18年の1月1日までどうにかまとめていこうという、その私は熱意は本当に改めて感謝申し上げる次第でございます。</p> <p>1市3町の幕を閉じ、新たなまちが生まれる、大きなこの節目の年でございます。今後とも皆様におきましては、どうか温かくご支援、ご協力をお願いするとともに、またご参席の皆様のご健勝と上田県政のますますのご発展と、そして新市のご発展を心よりご祈念申し上げまして、ごあいさつといたします。</p> <p>本日はありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、神尾高善岡部町町長よりごあいさつを申し上げます。</p> <p>皆さん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました岡部町長の神尾でございます。一言ごあいさつをさせていただきます。</p> <p>本日は公私ともご多用の中、上田県知事様を始めといたしまして、地元の国会議員、県会議員の先生方並びにたくさんの関係皆様のご臨席を賜り、合併協定書の調印式を挙行できましたことを心から厚く厚く御礼申し上げます。</p> <p>ただいま、私も上田県知事さんや1市3町の議会議長の皆様の立ち会いのもと、合併協定書にしっかりと署名をさせていただき、この歴史的な一大事業にかかわる一人として、新市のスタートに向けさらなる努力を怠らなければならない重責を強く受けとめておるところでございます。</p>

(式典経過)

発 言 者	発 言 内 容
倉上深谷市助役 (司会) 小川川本町長	<p>振り返りますと、町長に就任して一昨年の4月には、既に1市4町の合併協議会が設置されておりまして、本日の1市3町での合併協定書の調印式を迎えるまでの道は、必ずしも平たんではありませんでした。</p> <p>私は、市町村合併に当たっては、住民の自由な意思を尊重することを基本理念に基づきまして、字別タウンミーティングなどで多くの住民の皆様との対話を重ね、岡部町住民の強い合併への意思を受け、その実現に向けてまいりました。町議会も深谷市を中心とする地域の合併に全会一致で賛同いたしており、ただいま1市3町で滞りなく合併協定書の調印ができましたことは、大きな喜びであり、感激ひとしおのものがございます。ここに改めてご来賓の皆様方を始め、合併に向け協議や議論を重ねられました合併協議会の皆さん、議会議員の皆さん、各団体代表の皆さん、そして各市町の職員の皆さんのご尽力に対しまして、深く感謝申し上げるところでございます。</p> <p>1市3町は、古くから交流を始めさまざまな結びつきがございますので、地域の人材、文化、産業等の資源や特性を生かしながら、新たな深谷市として広い地域の中で今まで以上に地域連携のもと、総合力を向上させ、輝ける魅力あるまちづくりをすることが私たちに課せられた責務であると考えております。</p> <p>本日の調印式は、合併という目標における単なる一過程でなく、本当の意味での合併成立並びに新市発足と新たなまちづくりへの出発点でございます。合併は少子高齢社会、地方の時代を迎えた21世紀の新しいまちづくりであり、来年1月1日の合併に向けて、さらに万全の準備を進める所存でございます。</p> <p>結びに、新たに生まれる深谷市のまちづくりが円滑に進みますよう、ここにご臨席いただいております関係者皆様の一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げまして、ごあいさつにかえさせていただきます。</p> <p>本日はまことにありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、小川重雄川本町長よりごあいさつを申し上げます。</p> <p>川本町長の小川でございます。私の方からも一言あいさつをさせていただきます。</p> <p>私は、本当に実感としてこの厳しい合併を皆さんの協力を得て、ようやくここまでたどり着いたというまさにうれしいな、大変だったな、そういう実感を心から感じるところでございます。本日は公私ともご多用の中、わざわざ上田埼玉県知事さん始め県会議員の先生方等々多くの関係者のご臨席のもとで、この合併の調印式が挙行できましたことは、主催者の一員として心から厚く皆様方にお礼を申し上げます。</p>

(式典経過)

発 言 者	発 言 内 容
倉上深谷市助役 (司会) 柳花園町長	<p>次第でございます。</p> <p>また、それとともに関係者の限らない努力に対して、心からお礼を申し上げ、そしてまたこの気持ちは感慨無量のものがあるところでございます。</p> <p>市町村合併の必要性は、皆さんみんな同じでございます。しかし、いざ合併ということになると、それぞれの地域性やあるいは持っている組織力、そういったもろもろのところをつかえてきます。大はわかっているけれども、小になるとなかなか厳しいものがございます。町民のあるいは住民の十分な理解のいかない、そういう内容もまだまだあろうかと思えます。しかし、昭和30年の合併以来50年の歴史の中で、21世紀の新しい県北のまちづくりをするとしたならば、最低でも中核都市を目指せる内容で私は合併していくべきだという持論を持っておりました。幸いにして3年間にわたる町民による対話集会で、合併の必要性を訴えてまいりましたが、議会を始めそれぞれの皆様方が将来にわたるまちづくりに基本線を崩さずに対応できたことは何よりと思っているところでございます。</p> <p>これからは生活面、そして基幹産業の農業、地域性、そういった共通するものが我々のまちの主軸になります。町民の参加をいただいて、県北の中核となれるまちづくりに今後とも特段のお力添えをいただきますとともに、本日迎えられたまだまだこれから来年の1月1日までには、相当のすり合わせ事項がございますが、新しい方向性に向かって限りないご協力と努力を心からお願い申し上げます、そして皆さんとともに本日のこの調印式をお祝いさせて、あいさついたします。</p> <p>本日はおめでとうございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、柳雅己花園町長よりごあいさつを申し上げます。</p> <p>ただいまご紹介いただきました花園町長の柳でございます。</p> <p>本日ここに、上田県知事さんを始めといたしまして、来賓多数の皆さんのご臨席のもと、深谷市・岡部町・川本町・花園町合併協定調印式がこのように盛大に開催されましたことに対しまして、心からお喜び申し上げます。</p> <p>皆さんもご承知のとおり、花園町は明治22年に6ヶ村が合併し花園村として誕生し、昭和58年に村から町への町制施行はいたしました。生誕117年を迎えております。このような関係で現在住んでおられる人の中には、合併の経験者は一人もございません。このようなことでこの合併の枠組みにつきましては、非常に大変でございました。私も最後の選択肢と考えておりました住民投票をいたしました。住民投票の結果を踏まえ、深谷市、岡部町、川本町さんをお願いいたしましたところ、快くお受けしていただき、本日の調印式を迎えたわけでございます。本当にあ</p>

(式典経過)

発 言 者	発 言 内 容
倉上深谷市助役 (司会) 上田埼玉県知事	<p>りがとうございました。関係各位に心からお礼を申し上げまして、あいさついたします。</p> <p>今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここでご臨席を賜りましたご来賓の皆様よりご祝辞を賜りたいと存じます。</p> <p>初めに、先ほど特別立会人としてご署名を賜りました埼玉県知事上田清司様よりご祝辞をいただきたいと存じます。</p> <p>ご紹介をいただきました埼玉県知事の上田清司でございます。まずもって4市町の合併調印式、厳粛の中にも盛大に、そしてソフトな感じで滞りなく式が終わりましたことを心からお礼、またお喜びを申し上げます。</p> <p>この運びになりました各4市町の首長の皆様方、議会関係の皆様方、そして本日来賓としておいでになっておられます小泉龍司先生の代理の方、また笠原先生、新井先生、石渡先生、それぞれの立場の中でご支援を賜りまして、まことにありがとうございます。</p> <p>大変それぞれ特色を持ったまちであります。深谷市は私の最も好きな近代日本の産業の父とも言われます渋沢栄一の生誕の地であり、単にこの渋沢栄一は企業を500つって産業を興したのみならず、教育・福祉事業で600もかかわるといふ大変すばらしい人物でもありますし、深谷のネギあるいは切り花、全国有数のブランドを持っておりますし、あるいは岡部のブロッコリー、あるいは岡部の漬物、スイートコーン、大変有名であります。川本町の愛する畠山重忠公、昨年も800年のサミットがあったというふうに聞いております。また、花園はフクジュソウに代表されますように、全国一の出荷額を持っておりますし、しばしば秩父路入り的时候には、私も直売所に寄ったりするのですけれども、これは埼玉一のいわば売り上げ額を誇っておりますし、これは埼玉県のみならず秩父に入られる方々、多くの方々が立ち寄って、埼玉県の農産物を花園で見せてくれるという大変すばらしい伝統や歴史を持っております。それぞれの関係の皆様方の思いというのは、それなりに万感の思いがあるのではないかというふうに思います。それだけにこうして合併に向かって未来志向という1点の中で調印式まで至ったことに、心から敬意を表したいと思います。</p> <p>思えば地方自治というのはある意味では合併の歴史でもございました。明治の初年度に7万1,000からある地方自治体が明治22年の大合併で1万6,000になりました。そして、昭和28年から30年にかけての昭和の大合併で</p>

(式典経過)

発 言 者	発 言 内 容
倉上深谷市助役 (司会) 小泉衆議院議員 (新井代理人)	<p>3,300、そして今日新たな局面を迎えておりますが、それこそ渋沢栄一の伝記を読めば、しばしば東京とあるいは江戸と血洗島と往復するときに、浦和や上尾や桶川で1泊されて、2日かけて片道を歩いておられた。今日2時間やそこらで東京に行くという現実からすれば、まさに生活圏の拡大の中で地方の自立性を高めながらも、そして地方の特色を生かしながら、どんなまちづくりをするかという大きな課題に向けて、このようにテーマをしっかり定め、しっかりとした新市計画をつくれ、調印式に至りましたこと、まことに感慨深く、そして心から敬意を表したいというふうに思っております。</p> <p>これから三位一体改革の行方も含めまして、県も決して今後の道のりについて厳しい面もありますが、私は埼玉県という全国2番目の平均年齢の若いこの県の活力というものは、これから47都道府県の中で最も未来があふれている、こんなふうに思っております。事実石橋湛山がつくりました「東洋経済」という経済専門誌の中で、先々週号で47都道府県の2005年度の経済成長率ランキングナンバーワンは、埼玉県になっております。まさに埼玉県の将来を感じさせることであります。過去一度も経済成長率で埼玉県が1位になったことはありません。そういう意味でも今後埼玉県としても大きく伸び行くチャンスがある。いわんや県北の雄都でありますこの1市3町がまとまることによりまして、例えば農業生産額だけでも関東随一になりますし、全国屈指の4番目になります。いろいろ特色を持った展開がいろんな形で模索できるのではないかと、私は大変期待しております。埼玉県の立場の中でいろんな支援ができる点については、一生懸命頑張っていきたいということをお約束申し上げまして、お祝いにかえさせていただきます。</p> <p>本日はまことにおめでとうございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、衆議院議員小泉龍司様よりご祝辞をいただきたいと存じます。</p> <p>皆さん、こんにち。小泉龍司深谷事務所の新井でございます。</p> <p>本日は、深谷・岡部・川本・花園、1市3町の合併協定調印式が滞りなくできましたこと、心よりお喜びを申し上げます。</p> <p>本日小泉代議士お招きをいただき、出席させていただく予定でございましたが、緊急の公務がございまして、代理出席であることをお許し願いたいと思います。小泉代議士から皆様にくれぐれもよろしくと申して、メッセージを預かってまいりましたので、代読をさせていただきます。</p> <p>本日、新市に向けた合併協定調印式が執り行われましたことを心よりお祝いを申し上げます。これまで多くの方々が努力を積み重ねられ、新しい自治体の創設に向</p>

(式典経過)

発 言 者	発 言 内 容
倉上深谷市助役 (司会) 倉上深谷市助役 (司会) 笠原県議会議員	<p>けて合意が整いましたこと、重ねてお喜びを申し上げます。</p> <p>市町村合併の大きな目的は、地方分権の推進と行政効率の向上にあると考えております。経済が停滞し、少子高齢化が進む中、都市と地方、また大企業と中小企業、農家間の経済格差が広がっており、その格差を克服していくためには、行政権限と財源をより多く地方に振り向け、地域社会の英知を結集していくことが緊急の課題であると思います。</p> <p>また、高齢化社会の中で増大する社会保障等の行政サービス水準を維持するためにも、国及び地方の行政改革による行政効率の向上が強く求められております。合併はこの二つの目的を達成するための有力な方法論であり、合併それ自体が目的ではありません。そういう意味で合併は新たなスタートラインであり、今後に向けた関係者の皆様のご努力と英知に多くの住民の方々が期待しているものと思います。</p> <p>また一方では、一般的に見て市町村の合併には小さな町村の住民の方に不安の声があることも事実であります。合併する市、各町がひとしく豊かに発展していく基礎をつくるのも、合併の大きな課題であると考えています。私も微力ながら全力を尽くして新市の設立に向けて、皆様方とともに努力を重ねてまいりたいと存じます。上田知事のご指導とご支援を仰ぎながら、住民の方々に納得していただける合併市をつくりあげることができるよう、皆様とともに頑張りたいと思います。</p> <p>これまでにご努力をいただきました皆様方のご苦勞に対し、心から敬意を表し、深く感謝を申し上げ、新たな合併市が多くの人の真の幸せにつながっていくことを心よりご祈念を申し上げ、お祝いのごあいさつとさせていただきます。</p> <p>平成17年2月17日。衆議院議員小泉龍司、代読。</p> <p>本日はおめでとうございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>埼玉県知事所用がございまして、ここで中座をさせていただきますことをお許しいただきたいと思います。</p> <p>(上田埼玉県知事退席)</p> <p>続きまして、埼玉県議会議員笠原英俊様よりご祝辞をいただきたいと思います。お願いいたします。</p> <p>ご紹介をいただきました深谷市選出の県会議員の笠原でございます。</p> <p>本日は1市3町にとりましては、歴史的な合併調印式にお招きをいただきまして、お祝いの言葉まで述べさせていただく機会をちょうだいいたしました。心から感謝を申し上げ、そしてここまでこぎつけるに至るまで、大変なご努力をいただきました各市町村の首長さん、行政当局、そして各議員の皆様方、そして陰から支えてく</p>

(式典経過)

発 言 者	発 言 内 容
倉上深谷市助役 (司会) 新井県議会議員	<p>ださいました各市民、町民の皆様は心から感謝とそしてお祝いの言葉を述べさせていただきます。</p> <p>昔から「仏をつくって魂を入れず」という言葉がございます。仏をつくるまでにこの皆さん方のご努力は、今度はいかにその仏に魂を入れるかと、大変大きな責任を有するわけでございまして、そのお手伝いの一端でもできればと、こう考えておるところでございます。</p> <p>私は、上折之口という200戸足らずの自治会に所属をいたしております。ちょっと知っているだけでも数えてみましたらば、川本町から婚姻、いわゆるお嫁にきている方がお年寄りから若いご夫婦に至るまで、約60組ございます。恐らく西部の大谷地区の方へ行きますと、やはり花園町とは大変なそういう交流があるだろうし、また北部の方へ行きますと岡部町とも柏合、両榎合とか、あの辺からはかなりの交流がある。その文化の違いとかこういうことは、もう既に解消をしておる。昭和30年に大合併がございましたけれども、今その違和感を持っている市民、町民は恐らく一人もいないだろう、こう思うわけでございます。あとはいかに今度はこの新しい市をみんなしていい市に築き上げるか、これ1点でございまして、皆様方のこれからのご努力を心からご期待を申し上げ、そして私ども県会議員もできる限りのご支援をさせていただき、こういうことをお誓い申し上げまして、お祝いのごあいさつにかえさせていただきます。</p> <p>今日は本当におめでとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、埼玉県議会議員新井悦二様よりご祝辞をいただきたいと存じます。</p> <p>こんにちは。ただいまご紹介いただきました県会議員の新井悦二です。</p> <p>本日は地元県会議員ということでお先に僭越ではございますけれども、あいさつをさせていただきます。</p> <p>本日ここに、深谷市・岡部町・花園町・川本町の1市3町による合併協定調印式が上田埼玉県知事のもと、多くの皆様のご臨席のもとで盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。また、本日までそれぞれの市町村の代表として、それぞれの議論をしていただきました関係者の皆様に対して、その努力とご労苦を心よりお祝いするわけであります。</p> <p>また今、地方分権もいよいよ本当に正念場のときを迎えようとしております。三位一体の改革による税源移譲が行われる今年も元年でもあり、上田知事におかれましては国との駆け引き、いわゆる綱引きが非常に大変な時期でもあります。また、厳しい県財政のもと新年度予算案が提出されたわけでもあります。予算規模の抑制と</p>

(式典経過)

発 言 者	発 言 内 容
倉上深谷市助役 (司会) 石渡県議会議員	<p>そして知事が掲げている選択と集中の継続、そして歳出の重点化を図ったそのような厳しい予算案でもあります。</p> <p>また、地方におきましても非常に財政源の厳しいときであり、また国庫補助金などの削減により予算編成が今まで以上に大変なそういう時代を迎えようとしております。市町村におきましては、これからも真剣になってやはりこの行財政基盤というものをしっかりと確保していかなければなりません。また、自己責任、自己決定のもとで、そういう原則のもとでこれからは簡素で効率的な行財政システムを構築していかなければならないと思っております。これから10年後、20年後、合併してよかったと心から感動できるそのようなまちづくりを、そしてまた市民の皆様と行政の皆様が思いやりとふれあいのまちづくりを進め、新しい時代にふさわしい県北の中核都市を築いていっていただきたいと思っております。</p> <p>地方が元気にならなければやはり国も元気になりません。埼玉県が日本一の県となり、そしてまた深谷市が県北の雄都となるように、皆様方と協力してやっていきたいと思っております。</p> <p>結びに当たりまして、来年1月に大きな産声を上げます深谷市の限りない発展とご参集の皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉にかえさせていただきます。</p> <p>本日はおめでとうございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、埼玉県議会議員石渡勲様よりご祝辞をいただきたいと存じます。お願いいたします。</p> <p>皆さん、おめでとうございます。私は、岡部、花園、川本、これが私の選挙区でございます。今日は、その3町と深谷市が合併する調印式にお招きにあずかり、本当に心からお祝いを申し上げると同時に、今まで皆様方がいかに大変なご努力、ご苦勞なさったか、あわせて敬意と感謝を申し上げる次第であります。当然本日は、議会の皆さん、あるいは団体の皆さん、もちろん首長さんと、これまでに至る中で皆さんが本当に力を合わせてこのような結果を生み出したと、素晴らしいことだと思います。</p> <p>問題はこれからであります。新市の計画をしっかりと出していただいて、これをいかにしてそのとおり実行し、住民が期待する本当に県北の雄都なる素晴らしいまちづくりをやっていくには、まだまだ大きな課題があります。特に少子高齢化の問題、それらに基づくいろんな影響が出てまいります。話せば長くなりますけれども、先ほど来皆さんからお話がありましたので、省略をさせていただきますけれども、</p>

(式典経過)

発 言 者	発 言 内 容
倉上深谷市助役 (司会)	<p>今私が一番感じていることは、この来賓席に座らせていただいて、ちょうど私は娘を嫁に出すときの心境というか、そんなうれしさと寂しさと、そして本当にいいまちをつくってくれればいいな、住民が本当に一丸となって自分の深谷市を誇りとし、本当に皆さんが一つ心になってまちづくりに協力していただけるようなまち、そういうまちになってもらえばいいなと、心から思っております。</p> <p>どうぞこれからも皆さんのお力で目的達成のために、いろんな立場でいるんなご苦勞があるかと思えますけれども、ぜひ頑張って深谷市が本当に県北の雄であり、関東の一大農業都市であるという誇りを持って繁栄できるように、心から祈念をさせていただきますまして、私からのごあいさつにいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>本日は、多くの皆様にご出席を賜りました合併協定調印式を滞りなく執り行うことができました。</p>
福田花園町助役	<p>ここで閉式の言葉を福田佐花園町助役より申し上げます。</p> <p>ただいまご紹介いただきました花園町助役の福田でございます。</p> <p>本日の調印式大勢の皆様方のご協力によりまして、滞りなく無事終了することができました。厚く御礼を申し上げたいと思います。</p> <p>以上をもちまして、深谷市・岡部町・川本町・花園町合併協定調印式閉式とさせていただきます。</p>
倉上深谷市助役 (司会)	<p>大変ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、合併協定調印式を終了とさせていただきます。</p> <p>誠にありがとうございました。</p>